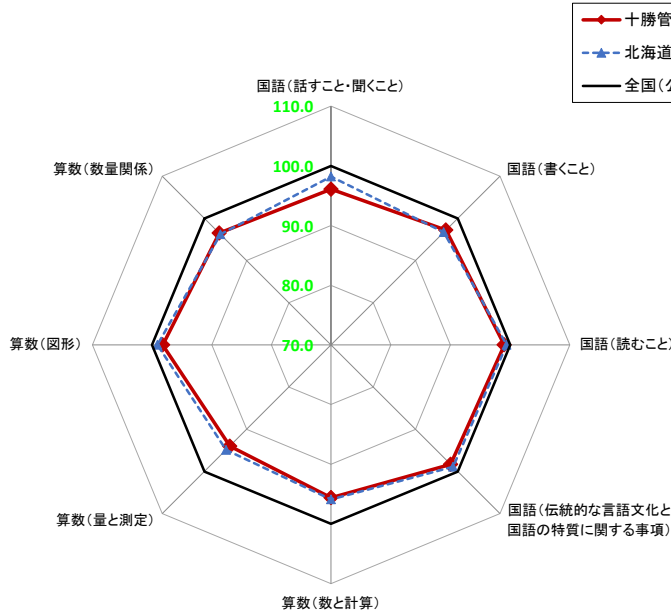


## ■小学校の状況(学校数:89校、児童数:2,775人)

### 【教科全体の状況】

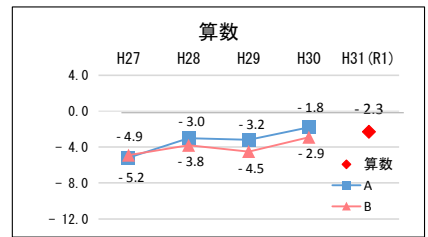
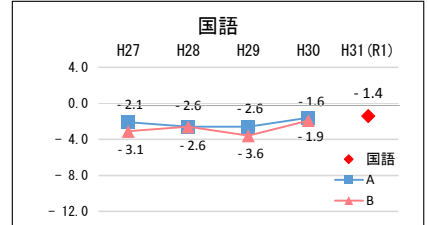
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと  
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



### 【平均正答率】

	国語	算数
十勝	62[62.4]	64[64.3]
全国	64[63.8]	67[66.6]

### 【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

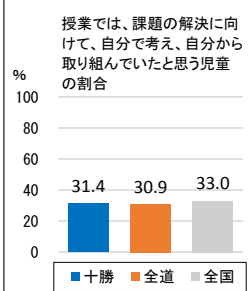


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

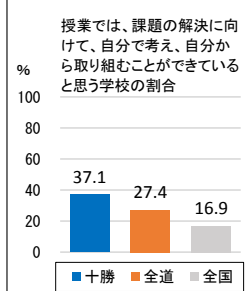
### 【質問紙の状況】

#### 学習意欲、指導方法

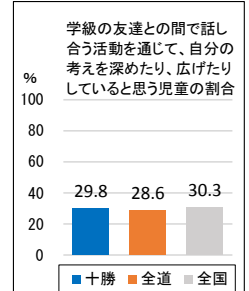
##### \* 児童質問紙



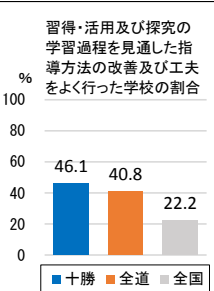
##### \* 学校質問紙



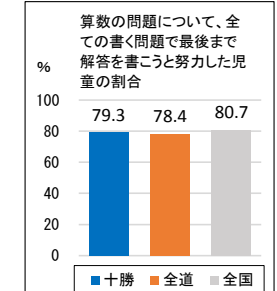
##### \* 児童質問紙



##### \* 学校質問紙

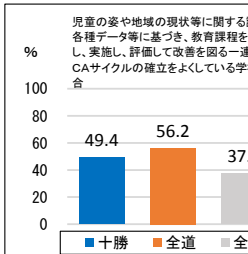


##### \* 児童質問紙

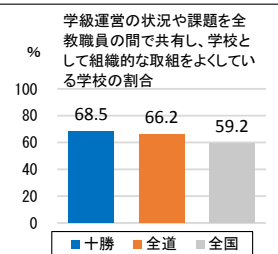


#### カリキュラム・マネジメント

##### \* 学校質問紙

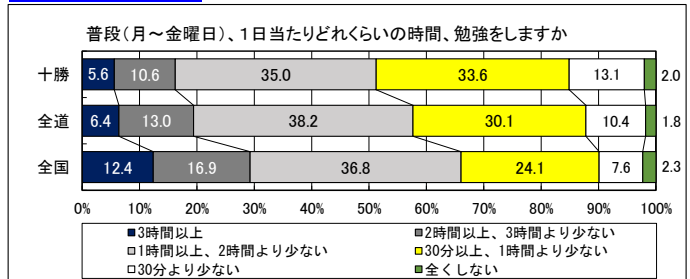


##### \* 学校質問紙



#### 学習習慣

##### \* 児童質問紙



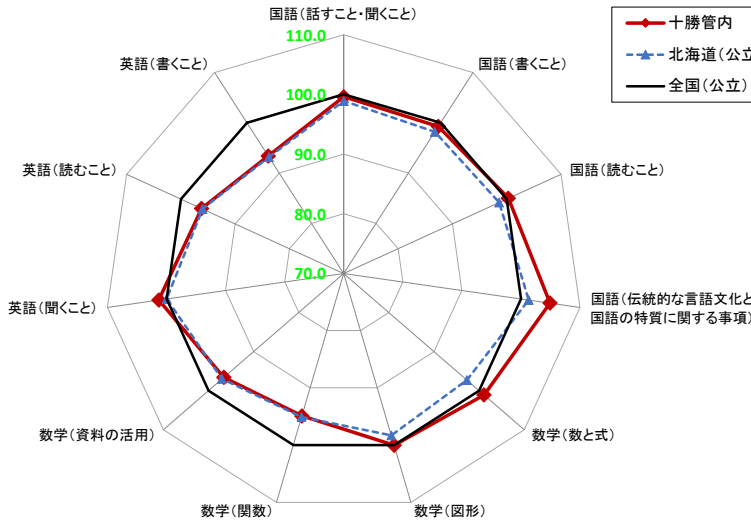
### 【分析及び改善の方向性】

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は49.4%、学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的な取組をよくしている学校の割合は68.5%であり、いずれも全国を上回っている。</li> <li>○ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う学校の割合は37.1%であり、全国を上回っているが、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は31.4%で、全国を下回っており、課題である。</li> <li>○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は51.2%で、全国を下回っており、課題である。</li> </ul>
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学力向上の取組を更に充実させるため、全国学力・学習状況調査やGRT学力検査、ほっかいどうチャレンジテスト等の組織的・計画的な分析を行い、授業改善を進める必要がある。</li> <li>○ 学習指導について、児童による授業評価の定期的・計画的な実施と、それに基づく指導方法の工夫・改善の取組等、児童の側に立った視点で主体的な学びを実現する必要がある。</li> <li>○ 育成を目指す資質・能力について教職員間で共通理解を図り、家庭での具体的な学習方法について発信するなど、家庭と連携を図りながら学習習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。</li> </ul>

## ■中学校の状況(学校数:47校、生徒数:2,750人)

### 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと  
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

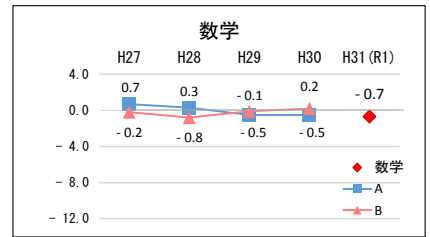
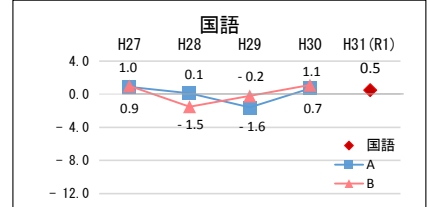


### 【平均正答率】

	国語	数学	英語
十勝	73[73.3]	59[59.1]	55[54.5]
全国	73[72.8]	60[59.8]	56[56.0]

※英語は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計値

### 【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

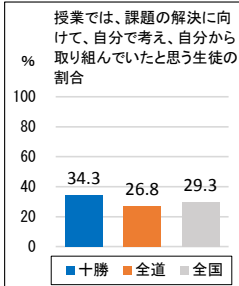


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

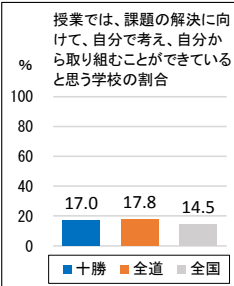
### 【質問紙の状況】

#### 学習意欲、指導方法

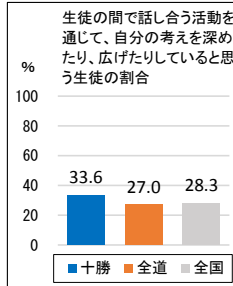
##### \* 生徒質問紙



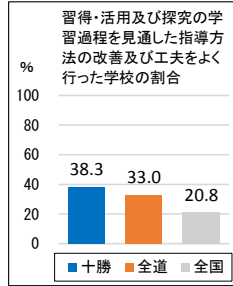
##### \* 学校質問紙



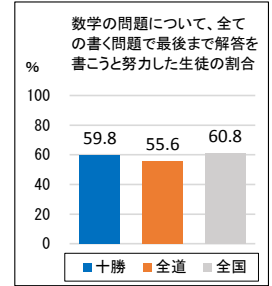
##### \* 生徒質問紙



##### \* 学校質問紙

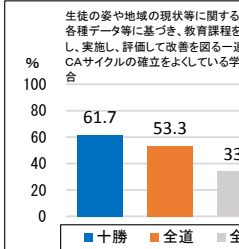


##### \* 生徒質問紙

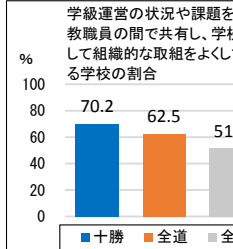


### カリキュラム・マネジメント

##### \* 学校質問紙

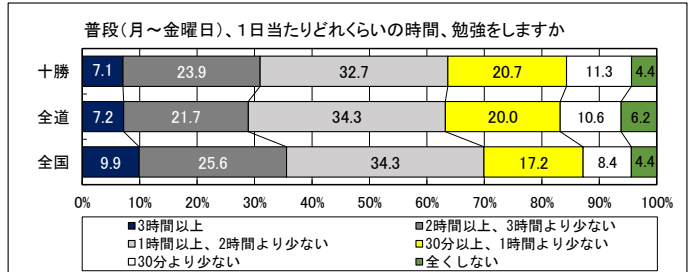


##### \* 学校質問紙



### 学習習慣

##### \* 生徒質問紙



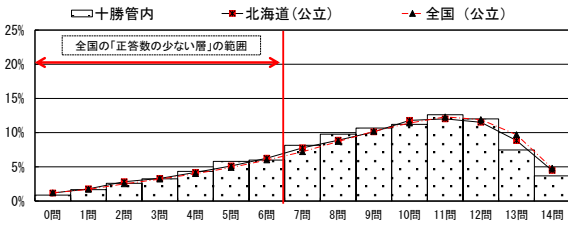
### 【分析及び改善の方向性】

分析	改善の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は61.7%、学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的な取組をよくしている学校の割合は70.2%であり、いずれも全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う学校の割合は17.0%、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合は34.3%であり、いずれも全国を上回っている。</li> <li>○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している生徒の割合は63.7%で、全国を下回っており、課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学力向上の取組を更に充実させるため、全国学力・学習状況調査やCRT学力検査、ほっかいどうチャレンジテスト等の組織的・計画的な分析を行い、授業改善を進める必要がある。</li> <li>○ 学習指導について、学習内容の確実な定着を更に図るため、課題とまとめ、見通しと振り返りの質的向上を図り、生徒の主体的な学びを実現する必要がある。</li> <li>○ 育成を目指す資質・能力について教職員間で共通理解を図り、家庭での具体的な学習方法について発信するなど、家庭と連携を図りながら学習習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。</li> </ul>

# 十勝管内

## 小学校国語

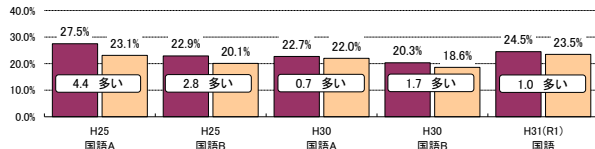
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,775	8.7 / 14	62.4	9.0	3.3
北海道(公立)	38,831	8.8 / 14	62.8	9.0	3.4
全国(公立)	1,028,203	8.9 / 14	63.8	10.0	3.4



●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

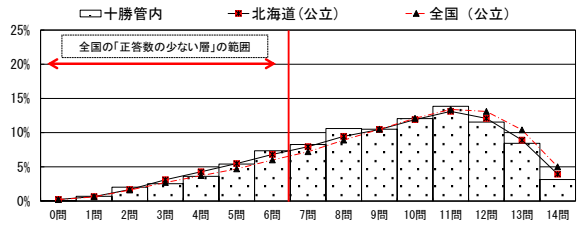
全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

■十勝管内 □全国



## 小学校算数

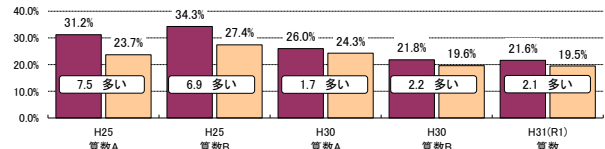
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,773	9.0 / 14	64.3	9.0	3.0
北海道(公立)	38,837	9.0 / 14	64.5	9.0	3.1
全国(公立)	1,028,177	9.3 / 14	66.6	10.0	3.1



●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

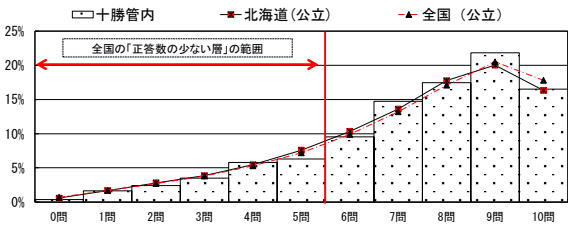
全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

■十勝管内 □全国



## 中学校国語

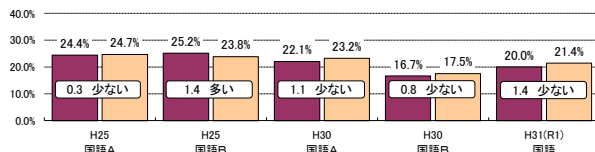
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,750	7.3 / 10	73.3	8.0	2.3
北海道(公立)	37,859	7.2 / 10	72.1	8.0	2.4
全国(公立)	938,797	7.3 / 10	72.8	8.0	2.4



●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

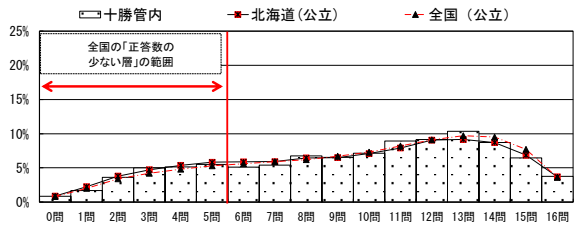
全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

■十勝管内 □全国



## 中学校数学

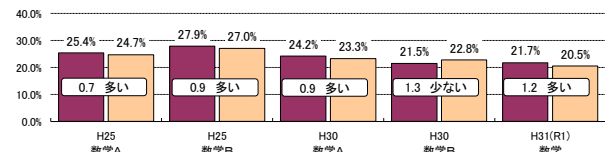
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,744	9.5 / 16	59.1	10.0	4.2
北海道(公立)	37,844	9.3 / 16	58.1	10.0	4.2
全国(公立)	938,887	9.6 / 16	59.8	10.0	4.2



●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

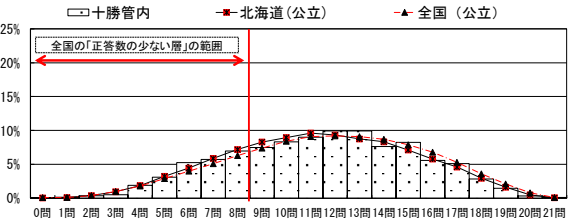
全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

■十勝管内 □全国



## 中学校英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」

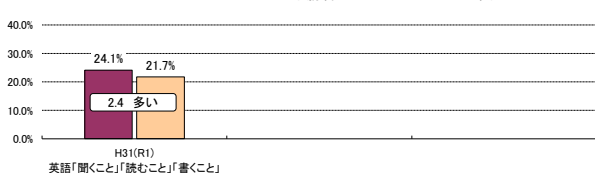
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
十勝管内	2,741	11.4 / 21	54.5	12.0	3.8
北海道(公立)	37,844	11.4 / 21	54.2	11.0	3.8
全国(公立)	938,888	11.8 / 21	56.0	12.0	3.9



●全国の「正答数の少ない層」は、8問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

■十勝管内 □全国



【参考】【平成28年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

### 小学校国語A

	十勝管内	全国
割合	24.9%	21.3%
差	全国との差 3.6 多い	

### 小学校国語B

	十勝管内	全国
割合	34.0%	29.8%
差	全国との差 4.2 多い	

### 小学校算数A

	十勝管内	全国
割合	29.6%	24.2%
差	全国との差 5.4 多い	

### 小学校算数B

	十勝管内	全国
割合	25.3%	20.0%
差	全国との差 5.3 多い	